

太子食品工業が開発中の健康飲料の試飲に臨む
八戸学院大生 23日、同大



学生の意見 新商品に

太子食品(三)と八学大連携

健康飲料など開発へ

三戸町の太子食品工業(工藤茂雄社長)は本年度、八戸学院大の学生と連携した新商品開発に取り組んでいる。同社は直販(通信販売)用に開発中の健康飲料に学生の意見を反映させるほか、学生から提案された商品のアイデアの実現化を検討する方針。同大は学生

に地元企業への興味を深めてもらうことで、青森県内での就職が進むことも期待している。同社は現在、若年層の女性をターゲットとしたオリゴ糖入り健康飲料を試作中で、開発に同年代の意見を採り入れようと、同大に協力を依頼。県内の主要大学

が進める、地元雇用の定着・推進を図る事業の一環として本年度から、同大ビジネス学部ビジネス学科の学生52人との産学連携を決めた。

23日は、同大で健康飲料の試飲会を実施。参加した学生は、リンゴ、オレンジ、パインの果汁を加えた3種類を飲み比べ、「すっきりとして飲みやすい」「味が薄い」「果肉を加えてみては」など、感想や率直な意見をアンケート用紙に記入した。

学生はこのほか、新商品のアイデアの提供にも協力している。同社直販部の山本重幸部長は「(新商品提案では)業界の常識にとらわれない自由な発想が多く、実際に商品化できそうな案もある。今後もうした取り組みを進めたい」と謝意を示す。

学生を指導する同大の堤静子准教授は「自分たちのアイデアが実現するという

ことで、学生の意欲も高い。地元企業でも魅力的な仕事ができることを知り、県内で働く学生が少しでも増えてほしい」と期待を寄せた。

健康飲料は来年4月に発売する予定。(井上周平)